



大東志塾
地域の子供は地域で育てる学習塾

大東志塾 NEWS

2017年
5月号
No.28

発行：一般社団法人大東志塾 〒574-0062 大阪府大東市氷野2丁目2-2 大政ビル 1F【氷野教室】

TEL 072-813-8578 FAX 072-813-8579 E-mail:info@daito-shijuku.com ホームページ http://daito-shijuku.com

学校でも新学年が始まり、新たな環境、新たな立場での生活に慣れてきた頃かと思えます。ゴールデンウィークは、新年度に入ってからの一ヶ月を振り返りつつ、5月に備えて漢字や英単語の総チェックなど、準備をしていきましょう。特に中学生は中間テストが待ち受けています。ゴールデンウィーク中は塾からの宿題も多くなりませんが、計画的に仕上げて実力を高めてください。最高の結果を残せるよう、がんばりましょう！

4月の活動報告

4月5日（水）まで春期講習でした。

4月8日（土）から通常授業が再開しました。時間割も新しくなり、小6以上の各学年で新しい教科の授業もスタートしました。

4月29日（土・祝）から5月6日（土）までゴールデンウィークのため休講です。

5月のお知らせ

5月8日（月）～5月18日（木）まで、定期テスト対策期間です。

定期テストが返却されたら、授業中に点数を塾に報告してもらいます。

宿題で力がつく

今回は、宿題について書いていきたいと思えます。普段は何気なくやっている宿題も、取り組み方次第で成績に大きな差を生みます。

まず、本当に実力が付く時間



今年度から始まった

中1 理社特訓、中2 社会特訓

の様子



は、実は授業中ではありませぬ。"一人の問題を解く時間"こそが、実力をつけるために必要なのです。

学校や塾の授業というのは、スポーツで例えるならプレーの解説の時間です。なぜその答えになるのかを理解するため、時間の大半を使います。塾では、ポイントを絞って、効果的に答えに辿り着く道筋を頭に入れてもらい、残った時間でできる限り質のいい問題を解いて練習してもらいます。

しかし、それだけでは成績は上がりません。よく言われることですが、「わかる」と「できる」の間には大きな差があります。どんなに頭で理屈がわかっていても、できるまで練習しなければ、身に付かないのです。ただ決められた範囲をやることだけを目的にせず、「できる」ようになるための練習として、宿題に臨んでいきましょう。ほんの少しの意識の違いだけで、驚くほど成績の伸びがかわってきますよ。



～ちよこっとコラム～

「5月を皐月（サツキ）という理由」

5月を別名「皐月（サツキ）」とよぶことは、みなさんご存知かと思えます。（「五月」と書いてサツキと読むこともあります。）一説によると、「早月」と書いていたのですが、同じ「サ」の読みを持つ「皐」に変えられたそうです。では、なぜ「皐」に取りかえたのでしょうか？「皐」という漢字は、もともと「平らな水辺」を表しています。しかし、裏の意味として「神様に捧げる稲穂」という意味もあるようです。そこで、田植えを始める旧暦の5月を表す漢字にぴったりだと、「皐」という字をあてたのではないかとされています。秋の実りのために田植えをする5月。塾生のみんなも、半年後、そして未来の自分のための学びの苗を、自分自身にたくさん植えていってくださいね。

賛助会員募集中

大東志塾は一般社団法人として、皆様のお支えと寄付により成り立っています。

皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

5月	授業回数	備考
1 月	休講	
2 火	休講	
3 水	休講	
4 木	休講	
5 金	休講	
6 土	休講	
7 日	休講	
8 月	月-7	↑ 定期テスト対策期間(予定)
9 火	火-7	
10 水	水-7	
11 木	木-7	
12 金	金-7	
13 土	土-7	
14 日	休講	中3 第1回 五ツ木模試(希望者のみ)
15 月	月-8	
16 火	火-8	
17 水	水-8	
18 木	木-8	
19 金	金-8	
20 土	土-8	
21 日	休講	
22 月	月-9	
23 火	火-9	
24 水	水-9	
25 木	木-9	
26 金	金-9	
27 土	土-9	
28 日	休講	
29 月	月-10	
30 火	火-10	
31 水	水-10	

6月	授業回数	備考
1 木	木-10	
2 金	金-10	
3 土	土-10	
4 日	休講	
5 月	月-11	
6 火	火-11	↑ 小4~中2 大阪進研テスト(授業内実施)
7 水	水-11	
8 木	木-11	
9 金	金-11	
10 土	土-11	
11 日	休講	中3 第2回 五ツ木模試(必須受験)
12 月	月-12	
13 火	火-12	
14 水	水-12	
15 木	木-12	
16 金	金-12	↑ 定期テスト対策期間(予定)
17 土	土-12	
18 日	休講	
19 月	月-13	
20 火	火-13	
21 水	水-13	
22 木	木-13	
23 金	金-13	
24 土	土-13	
25 日	休講	
26 月	月-14	
27 火	火-14	
28 水	水-14	
29 木	木-14	
30 金	金-14	

受験生へのアドバイス

「自分を客観的にみる」

勉強だけでなく、スポーツなどでもいえることなのですが、上達の早い子ほど自分を客観的にみえています。では、自分を客観的にみるとはどういうことなのでしょう？

誰しも、理想の自分像があると思います。一方で、そんな理想とは違う、現実の自分がいます。思春期ほど、理想と現実の落差に嫌気がさして、感情的になってしまいがちです。そうなってしまうと、その場でいつまでも足踏みをしてしまい、成長につながりません。しかし、自分を客観的にみる子は違います。現在の自分をそのまま受け入れ、分析し、理想の自分になるために必要なものを具体的に突き詰めるのです。具体的な目標ほど、やる気が持続します。結果として、本人はそこまで努力をしている気がなくとも、無理なく自然と上達しています。「要領がいい」と褒められる人の多くがこのタイプです。

続いて、客観的に自分をみるための具体的な方法をひとつ紹介します。テスト直しの際、自分が先生になりきって、自分の間違えたところを指摘し、改善法を自分自身に提案してみてください。ポイントとしては、主体的な感情をはさまず、淡々と繰り返すことです。すると、現在の自分の姿がはっきりとして、意外とできている部分、できていない部分まで見えてきます。

理想の自分までの距離が明確にわかってからが、本当の勉強のスタートです。理想の自分への道を一步一步、余計な寄り道をせずに最短距離で進んでいきましょう。どんなルートで進んでいけばいいかは、大東志塾の先生達が導いていきます。